

2018年第1回 日本ゴルフサミット会議議事要約

開催日時：2018年1月17日（水）9時30分～11時

開催場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京「プリズム」

出席者：竹田 恆正（議長）、永田 圭司（JGA）、手塚 寛（NGK）、三野 哲治（JPGS）、横山 雅也（JGRA）、馬場 宏之（JGGA）、板野 隆志（GTPA）、倉本 昌弘（PGA）、小林 浩美（LPGA）、小宮山 義孝（ゴ連協）、高橋 正孝（TOJ）、津々木 秀司（JGMD）、山田 孝雄（JGIA）、川田 太三（GCA）、片山 哲郎（JGJA）、田村 和男（支配人会連合会）（敬称略・団体名略称）

議事

竹田議長より、新年の挨拶と活動テーマである「選手強化」を強力に進めたい旨の挨拶があった。

1. 【審議事項】

第1号議案 「選手強化」に関する「協賛金募集案内の発信者名」について

前回サミット会議から継続審議事項となっていた「協賛金募集案内の発信者名」について、「運営会議」から上程された案に基づき審議を行い、下記の通り決定した。

発信者名：公益財団法人 日本ゴルフ協会 会長 竹田 恆正
（協力） 日本ゴルフサミット会議

尚、「選手強化策」については、「強化支援委員会」と「ワーキンググループ」の活動を通して各団体が協力していくことを再確認した。

2. 【報告事項】

I. 「2018年度日本ゴルフサミット会議活動方針」の確認

1. ゴルフの活性化をはかる
 - (1) 「統一テーマによるゴルフ活性化への取組み」の具体化と展開
 - ア. ゴルフ振興の中期目標：20歳代後半～30歳代前半のゴルフ参加率を10%強に上げる。
 - イ. 選手強化
 - ウ. イメージアップ
 - (2) 団体の活動目的に即した「ゴルフ活性化活動」
2. ゴルフ場利用税廃止を求める運動
3. 国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除
4. 暴力団等反社会勢力の排除

II. 2017年度各団体の活動報告 III. 2018年度各団体の活動計画

II・IIIについては、各団体より事前に提出された報告書及び計画書が配布された。

また、8月第1週の「ゴルフウィーク」について、再度全体での盛り上げと広報活動を模索すべきではとの意見が出され、検討課題とすることとした。

IV. 「ゴルフ活性化への取組み」の事例発表

1. 女性層への普及活動について
日本ゴルフコース設計者協会より、女性ゴルファー拡大に向けた「女性の為のティインググラウンド造成」の基本的な考え方が発表された。次に、日本ゴルフ場支配人会連合会より、平成26年調査での女性ゴルファー入場者割合10.6%を20%に引き上げる活動目標の発表があった。
2. ジュニア層への普及活動
全日本ゴルフ練習場連盟より、「ジュニアゴルファー検定制度」の仕組み、及び、実績等について、発表が行われた。

V. 「ゴルフ場利用税廃止運動」結果報告

ゴルフ場利用税廃止運動推進本部より、「平成30年度与党税制改正大綱」で継続事項となったため、東京五輪・消費税改定までの1年をより強力な廃止運動期間としたい旨の協力要請が行われた。

VI. その他（意見交換を含む）

1. 「ウィズエイジングゴルフ協議会」報告
平成30年3月23日にジャパンゴルフフェア会場において、結果報告の記者発表が行われる。
2. 「2018年ゴルフ新年会」のスケジュール確認。
3. 日本ゴルフジャーナリスト協会より、「記者発表」が実施されない理由を求める発言と今後は実施すべきとの意見が出された。「記者発表」は、その必要性を適宜判断して実施の有無を決定する。

11時10分に竹田議長の閉会の辞をもって、終了した。

以上